

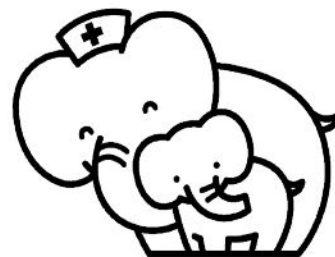
はしもと小児科

〒954-0112 見附市上新田町 449-7

TEL 0258-61-2400, 予約専用 61-2401, FAX 61-2402

<http://www.mynet.ne.jp/hasimoto/>

院長 橋本尚士:新潟大学医学博士,日本小児科学会認定小児科専門医,日本アレルギー学会認定アレルギー専門医



血尿・蛋白尿



<なんで尿を調べるの?>

学校, 幼稚園, 保育所, 3 歳児健診などで尿を調べます。腎臓病は進行しない限りは無症状なので, 尿検査をまめにして, 血尿・蛋白尿を早期に発見しなければなりません



<どんな病気があるの?>

血尿の場合は IgA 腎症, 蛋白尿の場合はネフローゼ症候群, 巣状糸球体硬化症, 膜性増殖性腎炎, 急性進行性糸球体腎炎などが考えられます。ここ数年で, 治療法が進歩したものもあります。早期発見が大切です。腎臓病もタイプによって治療可能です。



<検査は?>

初めて血尿や蛋白尿が見つかった時には, 尿検査に加えて, 血液検査と腹部エコーを行います。

尿検査: 血尿や蛋白尿が一時的なものか, 継続的なものかを判断するために, 尿検査は最低 2-3 回行います。また, 朝 1 番の尿を持って来てもらって検査することもあります。

血液検査: 腎臓の機能や腎臓病の種類が分かります。

腹部エコー: 水腎症の有無が分かります。



<気をつけることは?>

腎臓病ははじめたいしたことがなくても, 急に悪くなることがあります。血尿, 蛋白尿が一度見つかったら, 必ず定期的に受診をして, 尿検査, 必要に応じて血液検査を受けて下さい。くれぐれも放ったらかしにしないで下さい。悪くなってからでは, 取り返しがつきません。

<微少血尿>

定期検査の必要な方で最も多いのが, 「微少血尿」です。尿に僅かに血尿が混じる程度で心配は不要ですが, まれに IgA 腎症などに進展することがあります。2-3 カ月に 1 度の定期的な尿検査が必要です。

<起立性蛋白尿>

体位性蛋白尿ともいいます。病気ではありません。立ったり, 腰をまげたりする時にだけ出る蛋白尿で, 腎臓が悪いわけではありません。蛋白が大量に出ることはなく, 顔や体がむくむ, 尿の量が減ることもありません。まったく普通の生活をしてください。もちろん運動や食事の制限はいりません。大人になればなくなります。心配は全く不要です。

